



《20. 7. 25 第147号》

健民運動 かわら版



発行:石川県健民運動推進
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民生活課内
TEL 076-225-1388

ホームページ [健民運動](#) [検索](#)

(E-mail)kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

～毎月第3日曜日は家庭の日です。家族とのふれあいを大切にしましょう～

◇ 鼓 動

石川県青年団協議会 60周年を迎えて

石川県青年団協議会 事務局長 杉山 和人

◇ 健康体力づくり活動の推進

- ・「第35回太陽と緑に親しむ健民祭」実行委員会が開催されました。
- ・健民運動健康体力づくり出前講座が開催されました。
- ・親子白山登山のつどいが実施されました。

◇ 環境・文化活動の推進

- ・ふるさと文化再発見事業が採択されました。
- ・ツバメ学習会が実施されました。
- ・昔話についてのアンケート結果が出ました。

◇ 青少年健全育成活動の推進

- ・子どもドリームフェスティバルの内容が決定しました。

◇ 健民運動紹介・奨励コーナー

- ・オリエンテーリング地図講習会が開催されました。
- ・第26回健康体力づくりゲートボール大会が実施されました
- ・健民桜名所づくり運動の桜新聞No.4を発行しました。
- ・第44回花いっぱいコンクールが実施されます。

◇ 県民ボランティアセンターだより

◇ 健民運動カレンダー

◇ 薫 風

「いしかわ子ども交流センター」に協力

石川県児童文化協会 副会長 三富 正美



親子白山登山のつどい

鼓 動



石川県青年団協議会60周年を迎えて

石川県青年団協議会 事務局長 杉山 和人

昨年、私たち石川県青年団協議会は60周年を迎えました。1947年（昭和22年）戦後の荒廃した地域社会を青年の手で活気づけようと戦争から引き揚げてきた青年が中心となり、先ず各地区の青年団が発足し、地区青年団が集まり市町村の青年団協議会を結成し、そして県組織の発足とつながりました。

本年の2月には結成60周年を記念して記念式典と祝賀会を開催しました。発足当時、現役の青年団員として活動し、地域社会を創ってこられた青年団員もすでに高齢となっていますが、気持ちの中ではいつまでも青年団で活動していた時の情熱を持っておられ、その後の人生において地域の中で中心的な人物として活躍され、私たち現在活動している青年団員を温かく見守り、そして支えていただいております。

近年、地域青年団活動を続けていくことが難しいと言われていています。これまで青年団は地域でコミュニティーの一員として、また、次代の地域の担い手として他の年代の人たちと共に地域活性化の為に、また、次の世代にどのようにつなげるかを考え活動してきました。しかし、現在の青年にはインターネット等で容易にコミュニティーをつくることができ、地域社会の中で活動するという意識が薄く、また、他の世代の人とコミュニケーションを取りたがらない傾向があり、地域青年団存続が難しくなっています。

そのような中で私たち石川県青年団協議会として地域の青年団によって受け継がれてきたふるさと石川の素晴らしい「伝統芸能」や「祭り」を次の世代にどうつなげて行くかという問題に取り組んでいます。昨年度に開催した第53回石川県青年問題研究集会では「伝統芸能や祭りを次の世代にどうつなげていくか」をメインテーマとして取り上げました。研究集会では獅子舞・太鼓・キリコの3つの分科会を設け、それぞれの歴史等を講師を招いての学習会や参加者同士の話し合いの中から今後の方向性などを見出し、その中から伝統芸能や祭りに限らず地域をどのようにしたら活力あるものにできるかを考えることができました。

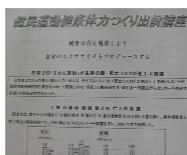
青年団協議会として60年という重みも感じますが、支えているのはやはり地域に住んでいる青年団員であり、私たちはより多くの仲間と共に地域社会・地域文化の発展と、こだわりの青年団活動から郷土石川の建設に努めていきたいと思っております。

健康体力づくり活動の推進

◇「第35回太陽と緑に親しむ健民祭」実行委員会が開催されました。

7月31日（木）、石川県立生涯学習センターにて、来る9月23日（総合開会式）を中心に実施される「第35回太陽と緑に親しむ健民祭」実行委員会が開催されました。本大会は、太陽をいっぱい受け、緑豊かな自然の中で、誰でも自由に参加できる各種大会や行事を展開し、県民の健康と体力づくりに資することを目的に実施されます。今年も多くの方の皆さんの参加をお待ちしております。

◇健民運動健康体力づくり出前講座が実施されました。



熱心に講義を聞かれる参加者のみなさん

7月5日（土）の午後、内灘町のアカシア公民館に40名の参加者のもと、はじめに「自らのエクササイズ（運動）をプロデュースできるように」という内容の講義がありました。



実技講師の新村三津子先生と参加者のみなさん



その後、石川県レクリエーション協会の新村三津子先生が講師をつとめ、みなさんで楽しくさわやかな汗を流しました。

◇親子白山登山のつどいが実施されました。

7月25日・26日、12家族30名の参加者が金沢ナカオ山岳会の指導のもと、登山口の別当出会から室堂を目指し、苦しいなかにも元気な声で励ましながら登山する姿が見られました。きっと、親子の絆も深まったことと思います。



環境・文化活動の推進

◇ふるさと文化再発見事業が採択されました。

本年度、選考委員会を開催し以下の4団体を採択しました。



デカ曳山復元と製作技術等伝承事業（珠洲市）



団体名	珠洲デカ曳山保存会
復活しようとする地域資源の現状	50年ほど前は、高さ16mほどのデカ曳山を浜辺で曳いていたが、砂浜の侵食と防波堤工事により浜辺を曳くことが出来なくなり、道路での運行となったが、電線があるために現在高さ6mほどの曳山となっている。また、キャラゲの歌も伝承者の減少により、少しずつ忘れられている。
目的	珠洲市の伝統であったデカ曳山の復元と保存を図ることにより、地域の伝統文化を次の世代へ伝承するとともに、都市部住民及び珠洲出身者との交流を促進し、地域の活性化を図る。
補助対象事業	<ol style="list-style-type: none"> デカ曳山交流・勉強会事業 <ul style="list-style-type: none"> デカ曳山の復元に向けて、製作や巡行を経験している世代を指導者として交流と勉強会を実施し技術の習得と伝承を行う。 デカ曳山復元・製作技術等伝承事業 <ul style="list-style-type: none"> デカ曳山製作経験者（80歳以上）である指導者の指導を受け、製作技術の伝承を行う。また、デカ曳山巡行においても、いろいろな巡行技術が必要となるので、経験者の指導を受け技術の伝承を行う。

畠山氏と松波城にまつわる人々にふれる（能登町）



団体名	民有「歴史文化」資産の保存活用を考える会
復活しようとする地域資源の現状	能登町松波に1474～1577年の間、存在した松波城の史跡があるが、若者達の歴史認識も低く、結果として若者達の地域愛も低下している。状況を改善するため、史跡と、そこにかつて関わりのあった人々について考察するものである。城址の荒廃もひどく(特に北側のルート)ガイド無しの散策は困難となっている。
目的	五百年前に当地は、七尾、輪島、穴水と並ぶ能登の四大拠点であったにもかかわらず、今ではその面影もなく疲弊している。当時の歴史文化を甦らせ継承することで、それら若年層のふるさとに対する愛着、誇りを育む。
補助対象事業	<p>地元町民、とりわけ青少年に対し、当地で500年前に存在した「松波城」と、城主の畠山一族にかかわる人々について周知してもらい、ふるさとへの愛着、また、それら史跡の伝承を図る。そのため受験のための覚える歴史とは一線を画し、歴史の節目節目で登場する人物がどうかかわり、人間性がどう影響したか迄踏み込み、推測することにより登場人物に親近感を持ち、いわば彼等と時空を共有するかの体験が出来ればと考える。</p> <p>松波城と、その主であった松波畠山氏について資料収集を行う。次に、中学生が容易に理解出来るよう、生徒と父母を対象にアンケート調査の上、視点を整理し編集する。内容は講義の際の資料として以下の点を留意しCD-R化する。また、内容を周知してもらうため、町内の中学校5校で当会会員による出張講義を行なう。(資料として中学生542名、及び担任教師分その他で600枚のCD-Rを作成し、配布する。)加えて、学校、学年別で現地のルート散策を促し、ガイドを行なう。</p>

御手洗ふるさと伝承事業（白山市）



団体名	御手洗ふるさと伝承会
復活しようとする地域資源の現状	当地は、室町時代にはすでに存在する地域であり、埋もれた数多くの民話、民芸をはじめ史跡など伝統的な文化遺産があるとされている。特に、民話、民芸等の伝統的行事は、現在は途絶えたものが数多くあり、今回、当地に伝わる民話を復活し伝承する。
目的	事業を行なうためには、多くの地域の方々や企業の協力ができない。このことが、地域全体が一体となり、後世に誇りある伝承活動へと発展する。
補助対象事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域資源の掘り起こし 2. 伝承者の育成（語り部を育成） 3. いろはカルタの作成とカルタ大会の実施 4. 史跡マップの作成とウォークラリーの実施

錦城山物語伝承事業（加賀市）



団体名	NPO法人竹の浦夢創塾
復活しようとする地域資源の現状	加賀市大聖寺で、古くから「お城山」として親しまれている錦城山がある。戦国時代に山口玄蕃と前田利家との戦いで悲慘な状況、貴重な伝説や、文献が埋もれている。
目的	物語を通して、戦国時代の古き良き時代の庶民の活気ある生活を伝え、現代人に欠けている隣人たちとの営みやふれあいを伝える。その活動をとおして、地域の方々との連帯感を深め、より良い営みや隣人との交流を深める。また若い人達と共に文化の継承を行う。
補助対象事業	<p>加賀市大聖寺で、五百年前の戦国時代秀吉の甥にあたる小早川秀秋に仕えていた山口玄蕃の前田利家との大聖寺城での戦いで、一族全員が戦死や自害して果てた戦いを古老や伝承や資料から発掘し、また、錦城山にまつわるいろいろな言い伝えや民話、伝説を掘り起こし、「お城山の七不思議」「右平と惣太」と題し、二本の脚本を制作し、歌と映像と語りで綴り上演する。また、その物語の抜粋した小雑誌を制作し会員及び上演会場にて配布する。</p> <p>この事業は、町づくりに力を入れている方々や、錦城山を愛する会、大聖寺文化協会の会員を中心に進め、また、大聖寺高校の演劇部などとも協力しながら進め、今後の町おこしにおおいに起爆剤になると考える。</p>

◇昔話についてのアンケート結果が出ました。

健民運動推進本部では、幼い頃から本に親しみ、豊かな心を育て親子の対話の場を広げる「絵本ホームライブラリー運動」を展開しています。

平成20年3月、県内すべての保育所・園、幼稚園を対象に「くらしの本棚第63号」送付時に「昔話についてのアンケート」を実施しました。

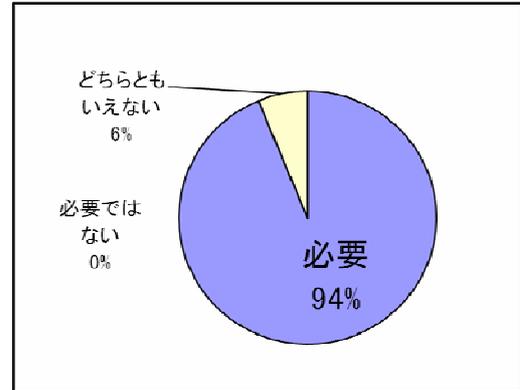
そのアンケート結果の概要をお知らせします。

① よくご存じの昔話は？

順位	タイトル	人数
	ももたろう	249
	浦島太郎	193
	一寸法師	156
	はなさかじいさん	153
	さるかに合戦	152
	かちかち山	129
	かぐや姫（竹取物語）	119
	おむすびころりん	113



② 子どもの成長に昔話は必要か



③ 語り継いで欲しい昔話は？

順位	タイトル	人数
1	ももたろう	50人
2	かさじぞう	31人
3	泣いた赤鬼	17人
4	さるかに・さるかに合戦	13人
5	はなさかじいさん	8人
5	三枚のおふだ	8人
7	おむすびころりん	7人
7	かちかちやま	7人

④ 園児は誰から昔話を聞いているの？



家族	130
園	203
図書館などのお話会	16
ビデオなど	78

※ アンケートの質問内容や集計結果については健民運動推進本部のホームページをお開き下さい。

◇ツバメ学習会が実施されました。



この学習会は、野鳥に親しむ運動の一環として県内の小学校の要請に応え、児童がツバメの知識を深めることができるようにと健民運動推進本部から講師を派遣し、ツバメについて色々な学習をする事業です。

今回は、7月10日（木）小松市の木場小学校でツバメの学習会が実施されました。

パソコンルームが学習会の会場だったので子どもたちは、ホームページに掲載されているツバメの写真や、航空写真を使って木場小学校のツバメの巣の分布を確認したり、他校の調査の様子を調べたりしました。

今回のツバメ学習会には、紙粘土で作ったタマゴ、巣、そして能登の農家の方から提供されたツバメが巣立った後の本物のツバメの巣を2つ持っていきました。子どもたちからは、「どうしてツバメの巣は落ちないのですか。」と質問があったり、巣の中に、ワラがきれいに敷き詰められている様子を見て、小さな体のツバメが大きな仕事をすることに感心していました。



青少年健全育成活動の推進

◇子どもドリームフェスティバル事業の内容が決定しました。

第11回子どもドリームフェスティバル 選考結果

番	「夢」の内容
1	金沢城で剣舞・日舞を踊りたい！(金沢市泉の台幼稚舎36人) 金沢城址公園の特設舞台で剣舞・日舞を踊りたい。
2	大きな絵本を作りたい。(津幡町津幡とくの幼稚園年長組42人) 園児がストーリーを考え絵も描き、園児の身長よりも大きな絵本をつくりたい。
3	自分たちで洋服をデザインし、作成して着たい。(加賀市立橋立小学校4年生18人) 自分達で洋服をデザインし自分達で洋服を作りファッションショーを開催したい。 (夢を叶えるには、努力が必要だということを、体験を通じて学んで欲しい。)
4	巨大ダンボールハウスを作って、みんなで楽しみたい。(珠洲市直小メンバーズ15人) 今まで小さいダンボールハウスをいくつか作ってきました。高学年になって、忙しくなり作る機会がなくなってきたけど、巨大ダンボールハウスが完成したら、クラスみんなと楽しみたい。できれば合宿もしたい。
5	みんなの金沢いきいき隊 (金沢市金沢大学人間社会学域学校教育学類附属小学校6年1組36人) 私達は金沢が大好きです。私達は金沢の良さを調べ、全国の子供達に「ここを訪れてみたい」「こんな歴史があるのか」ということを発信し、金沢を訪れる子供達を増やし金沢市を活性化したいと考えています。(子供達の眼で見た「町づくり」「町の活性化」に取り組んでみたいと考えています。この活動を通して、子供達は金沢を調べ直し金沢を見直し、金沢により愛着を持ってくれることにつながると考えています。)
6	地域の方々を招いて歌劇座の大舞台で金沢の伝統文化の発表会をしたい (金沢市みそっこ(味噌蔵町小学校児童)267人) 校区内の多くの皆様を歌劇座に招待し、6年生は、加賀宝生「羽衣」。5年生は、落語。4, 5年生は、前田利家音頭。1, 2年生は、金沢の民話を、それぞれ発表し見てもらいたい。
7	演劇活動をして舞台に立ちたい！(金沢市ぼらぼらの会8人) 私たちは発達障害を持つ子どもたちと、その保護者で構成しているグループです。子どもたちの「演劇がしたい！」と言う願いを叶えてあげたい。そして、学校や福祉施設などを回り、障害があっても頑張っている子たちの姿を見てもらい、サポートがあればこんなにも可能性が広がるんだ、ということを知ってもらいたい。また、発達障害の子ども達がなかなか感じ得る事が出来ない、達成感や、やれば出来る！という自信と、一生涯心に残る思い出を作りたい。

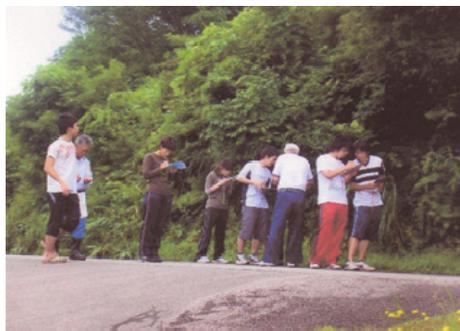
健民運動紹介・奨励コーナー

◇オリエンテーリング地図講習会が開催されました。



【報 告】 ー地図調査はOL上達の近道ー

石川県オリエンテーリング協会 森田 輝雄



今年の地図調査講習会は石川県健民運動キャラバン事業の一環として6月22日梅雨空のもと金沢市郊外の金沢キゴ山ふれあいの里研修館周辺で開催されました。

講師を含めて11名というコンパクトな講習会となりましたが、OLの魅力を知ってもらうことと、各種大会開催の基礎となる地図調査のいろはの指導を中心に実施しました。

内容は、地図調査の基本中の基本であるコンパス（方位磁石）を使っての方向決定技術と歩測（自分の歩幅から距離を算出する）による距離の出し方等です。

当日は、午前中にOLの魅力と地図情報の大切さを解説し、屋外に出て自分の歩測測定と周辺道路での実測訓練を、午後からは、スタートとゴールを同地点とし、約2Kmの山野を移動し、白地図に書き込みを行ないました。



◇第26回健康体力づくりゲートボール大会兼第24回全日本ゲートボール選手権大会石川予選会が開催されました。

6月29日(日) あいにく天候は雨で、グラウンドコンディションは良くない状態ではあったが、県内より26チームが参加し、予定どおり実施されました。

開会式は、雨天の影響で少し早く開始されたが、全員がグラウンドに整列し、石川県ゲートボール協会副会長の大会あいさつ、健民運動推進本部長激励のことば、能美市より歓迎のことばと続き、参加チームを代表して、‘能美シティ’の主将 辻 博康さんが「この広いコートのようにのびのびとプレイすることを誓います。」と宣誓しました。



◇健民桜名所づくり運動の桜新聞No.4を発行しました。



健民運動発足30周年記念事業として、平成6年度より10万本以上の桜の植樹を目標とする「健民桜名所づくり運動」を推進しています。

皆さんに植樹していただいた桜の様子をお知らせする「桜新聞」No.4が発行されました。

‘桜新聞’を健民運動推進本部のホームページに掲載しましたのでご覧ください。

健民運動

検索



◇第44回花いっぱいコンクールが実施されます。

心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として、県民の手づくりによる花いっぱい運動（花づくりを通して美しく住みよい生活環境づくり）が全県くまなく広がることを願い、昭和40年からこのコンクールを実施しています。

【審査方法】 審査員が現地に赴き、現地で採点したのち、全審査員による総合審査を経て、部門別に賞を決定します。

【表彰】 8つの部門別に、優秀賞、奨励賞を授与します。また、優秀賞の中で特に優れている花壇は最優秀賞を授与します。

【表彰式】 11月16日(日)に開催の「花いっぱいのつどい」で行います。

【締め切り】 平成20年8月22日(金)

【その他】

- 応募があった花壇の写真をパネル(A4版)にして進呈いたします。
- 応募者、応募団体に、審査員の寸評を記した記録集を進呈いたします。
- 申込用紙は、健民運動のホームページよりダウンロードできます。

平成19年度優秀賞



個人の部
白山市 中田さん

小学校の部
中能登町 滝尾小学校



一般の部
小松市 金平町老人会花びらの会



県民ボランティアセンターだより

* 収集物（7月分）*

<使用済み切手>

石川県観光連盟、教職員課、県民交流課統計情報室、
県民生活課、県民ボランティアセンター

計 5 件



ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

* ひとつ *

日々暑さが増して参りましたが、みなさんお元気でいらっしゃいますか。
いまの季節、行楽地に行かれる機会が多いと思われます。行楽地ではたくさんのゴミを目にします。
目の前に落ちているゴミを拾うよう心掛けてみましょう。ボランティアはそんなささやかな行為から始めることができます。

(財) 石川県県民ボランティアセンター

〒920-0962

金沢市広坂2丁目1番1号 石川県広坂庁舎2号館2階

tel:076-223-9558 fax:076-223-9559

e-mail:e130500a@pref.ishikawa.lg.jp

8月の健民運動カレンダー

8/23 (土) 12:00～ 8/24 (日)

石川県知事杯争奪第30回中部日本招待少年サッカー大会

於：県営まめだ簡易グラウンドサッカー場

主催：中部日本招待サッカー大会実行委員会

8/24 (日) 9:00～

平成20年度北國早朝ゲートボールまつり

於：県内各地区指定場所 主催：北國早朝ゲートボール連盟・北國新聞社

第17回石川県スポーツ・レクリエーション祭

8月開催の種目と開催市町・日程・会場一覧

	開催市町	大会名	主管団体	期日	曜	会場
1	金沢市	クライミング大会	県山岳協会	8/24	日	医王山スポーツセンター クライミングウォール
2	白山市	ビーチボール交歓大会	白山市ビーチボール協会	8/24	日	白山市 美川町スポーツセンター

【本部事業】

8/26 (火) 13:00～

絵本センターのつどい

於：輪島市 石川県健康の森総合交流センター

8/27 (水) 9:30～

絵本センターのつどい

於：金沢市 県地場産業振興センター

8/27 (水) 13:30～

絵本センターのつどい

於：小松市 小松市民センター



薫 風

「いしかわ子ども交流センター」に協力



石川県児童文化協会 副会長 三富 正美

石川県立中央児童会館が、今年の4月5日にリニューアルして、名称も「いしかわ子ども交流センター」となった。

今大きな問題となっている耐震改修が施された。床にカーペットが敷かれて、子どもたちがゆったりとくつろげる部屋が出来た。また、乳児のために、新たに授乳室も設けられた。若者たちが気兼ねせずにバンド活動の出来る、音響を考慮した部屋も新設された。館内の壁が白く塗られて、パッと明るくなり、とても快適である。ホールの展示も一新されて、子どもの喜ぶロボットやミニ重機などが置かれている。県内の企業の協力で、子どもたちに石川の産業を紹介する展示である。

このような、大幅なリニューアルがなされたことで、子どもたちが大いに喜び、入場者がいっそう増え、まことに喜ばしいかぎりである。

私たち石川県児童文化協会と、「いしかわ子ども交流センター」との関わりはとても深い。昭和34年に児童会館が出羽町に設置されたときから始まる。一時広坂の知事公舎前に移転した後、現在の法島町に「子どもの城」として、児童会館が新築され、それから32年を経て、この度リニューアルした今日に至るまでの49年という長い間に渡って関わってきた。

演劇や器楽などのクラブの指導や、お月見の会や童話発表会などの多くの行事に協力してきた。

私も演劇クラブの指導者の一人として、若い教師時代から喜寿を迎えた今日まで、多くの子どもたちに接して劇の指導に当たり、児童会館の舞台上で発表してきた。

この度、児童会館から子ども交流センターに移行して、今までの子どもの健全育成の機能に加えて、子育て支援や、若者の自立に向けての機能を付加して、新たな活動を展開していくことになった。

私たち石川県児童文化協会には、教師経験者や現に学校教育に当たっている者が多数所属している。これから子どもたちの健全育成に努めるだけでなく、経験を活かして、子育て支援にも、若者との文化活動にも大いに関わることが出来ると思っている。

子ども交流センターの更なる発展のために、今後とも継続して協力したい。

毎月7日は「健康の日」です。
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～